

# 平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.232

2025. 2. 3

発行：平和憲法・9条をまもる  
岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227

## すすめよう！「憲法改悪を許さない全国署名」

### 岩手の署名 32,081筆（～1月末。うち郵送352通・1,369筆）

## 『大事な暮らしと憲法を守ろう』 —矢巾九条の会 19周年集会開催—

12月1日に「改めて学ぶ日本国憲法」という演題で岩手医科大学教養教育センターの 廣瀬清英先生に講演を頂き、36人が参加しました。

最初に、憲法はイングランドのマグナ・カルタがはじまりであり、憲法は権力者が守るべき義務である（西暦1215年6月15日）というお話がありました。憲法の3つの特徴として、「憲法は国民の人権を保障するためのものである」「憲法は国民の人権を保障するために国家権力を縛るつまり、国家権力に制限をかける規範である」「憲法は国の最高法規である。あらゆる法律や命令などの上位に立つ決まり事である」。また、憲法の3つの基本原理として、「国民主権（主権とは、国家の政治などの方針を最終的に決定）」「基本的人権の尊重（第11条および第97条では基本的人権の尊重が宣言されている。基本的人権とは人間が生れながらに当然に持つ権利）」「平和主義（前文第2段落に「平和のうち生存する権利」とある 第9条では戦力の不保持と戦争の放棄を宣言）等、クイズを交えて説明。また椋大樹氏の「檻の中のライオン」等の話を参考にし、自民党憲法改正案の問題点を浮き彫りにしました。



参加者からは、「憲法について余り考えることがなかったが、少し身近に感じることができた」「孫たちにも話ができるかと思う」「とても分かりやすい話で、特に緊急事態条項の部分を『檻の中のライオン』という本の例え使ったのがとても良かった」等の感想が寄せられました。

講演後も、「安部晋三元総理大臣は衆議院1/4の臨時国会を開くように要求したのに98日間も開かなく、開いたと思ったら冒頭解散をしたがどうなのか」という質問には、「憲法53条違反であり司法が強く内閣に開催をする要求が必要であった。3権分立であり国民主権の統治である」、「日米地位協定は変更できないか？」という問いには、「ドイツ・イタリアではベルリンの壁がなくなった冷戦後に大幅な協定の見直しが行われたが、日本では日本から米国からも見直し要求がでなかった」等多くの質疑応答がありました。

講演会後は、矢巾九条の会総会が開かれ、石破9条改憲NO!の運動をひろげ、憲法9条を守り「戦争する国」への暴走をくい止めます。「憲法改悪を許さない全国署名」を推し進めていくことを確認しました。

## 映画『戦雲-いくさふむ-』盛岡上映会情報

3月29日（土）10時半～・14時～ プラザおでって おでってホール

前売：一般1,000円（当日1,200円。学生無料）

プレイガイド：いわて生協店舗、県庁生協、パルクアベニューカワトク、プラザおでって

お問い合わせ：岩手県生協連 TEL019-684-2225

## 「2月の岩手の会街宣行動」7日（金）12:15～12:45

盛岡市大通・野村証券前ご都合のつく方は、ぜひご参加を！暖かい格好でお越しください。



# “子どもたちに手渡そう 武器も核兵器もない世界を！”

—岩手県母親大会連絡会母親連鎖行動—

昨年12月9日に「武器はらない 核もらない 平和を守る母親連鎖行動」を行いました。

岩手県母親大会連絡会は、毎年12月8日のアジア・太平洋戦争開戦の日と8月15日終戦の日に、召集令状（赤紙）の復刻版をチラシにして街頭で配り、戦争の過ちを繰り返さないために行動しています。今年は、盛岡市をはじめ紫波町、遠野市、二戸市、奥州市、北上市、花巻市、大船渡市、一関市で行い、県内9か所、81名が参加。大型店舗や生協店舗、駅前、道の駅などで取り組まれ、3,500枚の赤紙を配りました。

世界は今、核大国が覇権を争い、武器を製造して売り、ガザでは毎日子どもたちが殺されています。一步間違えば、核戦争も現実のものとなりかねない事態となっています。おりしも日本原水爆被害者団体協議会が訴え続けた核兵器の非道さが世界を動かし、国連のノーベル平和賞受賞に至り、今年はこの運動にも励まされて取り組みました。そんな中、日本国憲法の精神を忘れて、軍事拡大につきすすむ金権腐敗の裏金政治が止まりません。ここにストップをかけ、憲法を守り、核兵器廃絶を実現させ、いのちと暮らし、社会保障を守るために決意を新たにす行動となりました。

各地からは、「長年の運動は素晴らしい」と1万円のカンパが寄せられ、高校生が積極的に受け取り、年配者が「戦争を体験した。戦争はダメ」の声が寄せられました。通りすぎる人たちもいましたが、あきらめずに行動を続ける大切さを痛感しました。（鈴木まき子）



## コラム = 「ガザ停戦で合意」ハマスとイスラエル、各国反応は「イスラエルけん制も」 =

【エルサレム共同＝菅野麻衣子（2025・01・17付け岩手日報） パレスチナ自治区ガザの停戦にイスラエルとイスラム組織ハマスが合意した。仲介国カタールと米国が発表。戦闘を19日から6週間休止し、ハマスは人質33人を解放、イスラエルはパレスチナ人数百人を釈放する。…】

勿論国際社会は歓迎です。コラム子も歓迎です。コラム子は仲介国に「米国」が噛み、国連が関係していないことが「喉に小骨」が刺さっている感じ！コラム子の思い過ごしでしょうか？

【パレスチナ自治区ガザの15日の停戦合意発表を国際社会は歓迎し、各国から人道危機の改善を期待する声が相次いだ。…】

国連のグテレス事務総長は、支援拡大に「できる限りのことをする」と語った。平和と安定には「パレスチナ自治区の一体性、結束の維持が不可欠だ」と強調し、暗にイスラエルによる占領をけん制した。…同じく仲介国のエジプトのシシ大統領は人道支援の加速に期待を示した。パレスチナ国家樹立による2国家解決を通じた高級停戦も求めた。】

マスコミの記事文章をこのようにまとめることもできると思いますが、これは国連の肩を持つことになるでしょうか？（T）

## お知らせ 学習に活用ください！ 九条の会新ブックレット「石破政権の「戦争する国づくり改憲」と対決する」

昨年11月18日に、九条の会主催で学習会を開催。この時の渡辺治氏「石破政権における改憲、軍拡政策の新局面と私たちの課題」や、小沢隆一氏「『戦争する国』づくり 改憲の危険な憲法論と安全保障観」の講演をもとに新たに書き下ろしたブックレットです（2025年1月27日発行 A5判・84頁 1冊500円送料別）。

**各9条の会には1部差し上げます。さらに購入したい場合は、1冊400円(送料込)でお譲りします。ご注文は岩手県生協連まで。**

